

東京言語研究所 集中講義のご案内

東京言語研究所では、言語学を研究されている方や言語学に興味をお持ちの方を対象に
＜理論言語学講座＞をはじめとして様々な講座を開講しております。
＜集中講義＞は、多様な研究の一領域を集中的に学べる講座です。ぜひご参加ください。

＜演題＞ 音韻理論から見た音韻獲得

＜講師＞ 上田功（名古屋外国語大学教授）

＜日時＞ 9月5日(土)、6日(日) 2日間連続講義
5日(土)13:00～、6日(日)10:30～

＜講義形式＞ 対面講義(先着 10 名)と

ZOOM によるオンライン講義併用

＜対面会場＞ 新宿区西新宿 3-9-2 イマス西新宿第一ビル 8 階

※2025 年までの会場とは異なりますのでご注意ください

＜受講料＞ 一般 12,000 円(税込)

2026 年度理論言語学講座受講生 9,000 円(税込)

※事前振込制

＜申込み＞ ホームページ「[申込フォーム](#)」

または QR コードからお申込ください



※申込み受付期間：

7 月 30 日(木)10:00AM～8 月 31 日(月)10:00AM

講師紹介：

名古屋外国語大学外国語学部教授、大阪大学大学院連合小児発達学研究科招聘教授。
大阪外国語大学大学院修了、京都大学博士（文学）。1989-1990 年アメリカ合衆国インディアナ大学言語学科客員研究員（合衆国連邦政府保健研究所プロジェクト研究員）、1997-1998 同大学音声言語医学科客員研究員（フルブライト交換）。静岡大学助教授、大阪外国語大学助教授、大阪大学教授を経て現職。2009 年-2013 年日本音韻論学会会長。2022 年-2025 年日本音声学会会長。近著に『獲得と臨床の音韻論』（ひつじ書房）、*The Oxford Handbook of Speech Development in Languages of the World*（共）（Oxford University Press）、*English Language Teaching: Current Issues and Future Prospects II*（共）（Springer Nature）、*Wiley Blackwell Companion to Phonology*（共）（Wiley Blackwell）など。

講義概要

音韻獲得期の幼児には、多くの逸脱発音が見られます。これらは従来、音の置換、脱落、歪み等と言われ、構音器官の未発達に起因するものとされましたが、生成音韻論の登場により、正しい基底表示が誤った音韻規則により逸脱発音が生ずるという、合理的で統一的な説明がなされるようになりました。本講義では、幼児の音韻獲得過程が、初期の生成音韻論から、最新の最適性理論にいたるまでの音韻理論の発展に従って、どのように説明されてきたかを講義します。特に幼児の音韻発達には、音の獲得順序には傾向が認められるものの、個人差が存在するのでそれは絶対的なものではないというパラドクスが存在します。最終的にこのパラドクスに対する解答を考えていきたいと思います。

＜タイムスケジュール＞（予定）※時間配分は講義の進行によって前後する場合があります

9月5日（土）

13:00-14:30 講義① 音韻獲得の性格
14:45-16:15 講義② 初期生成音韻論による説明
16:30-18:00 講義③ 機能主義と自然音韻論

9月6日（日）

10:30-12:00 講義④ より合理的な説明を求めて：
素性階層理論と素性不完全指定理論
13:15-14:45 講義⑤ 音獲得におけるパラドクス
15:00-16:30 講義⑥ 継続性を説明する：最適性理論

○問合せ先○

一般財団法人ラボ国際交流センター 東京言語研究所
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 3-9-2 イマス西新宿第一ビル 8 階
TEL:03-6233-0631 FAX:03-6233-0633
E-mail:tokyogengo@labo-global.co.jp 公式サイト:<http://www.tokyo-gengo.gr.jp/>